

歌って踊れる100歳!

加藤熊太郎さん100歳迎える

今泉地区にあるグループホーム「やまなみ」へ入所している加藤熊太郎さんが、9月2日(金)に100歳の誕生日を迎え、町から顕彰状と祝い金が手渡されました。



加藤さんは同ホームで家族と共に100歳を迎え、似顔絵入りのケーキのろうそくを消したりなど、同ホーム職員や入所者たちとにぎやかにお祝いしていました。

加藤さんは歌や踊りが大好きで、同ホームでも民謡を歌ったり踊りながら、入所者を楽しませてくれるそう。この日もじよんがら節に合わせて歌い始め、そのうえ踊り出すという元気ぶりで、とても100歳には見えないう元気なおじいちゃんでした。

何でも好き嫌いなくたべるという加藤さん。長寿の秘訣は「笑って過ごすこと」だそうです。最後も笑顔で「顕彰してもらってうれしい。ありがとうございました」と自分の言葉で話していました。

もったいないの心 フリマで実践

第3回町民フリーマーケット
& 特産品フェア

もったいない運動の一環として9月4日(日)、パルナスで3回目となる町民フリーマーケット&特産品フェアが開かれ、大勢の買い物客が訪れました。

今回のフリーマーケットには、8団体と6特産品販売者が参加。午前11時のオープンとともに買い物客が次々と訪れ、お目当ての品物を探しながら、ホールに設けられた休憩所でくつろいでいました。

出品者もそれぞれ趣向を凝らした品揃えで迎え、お客様とのやりとりを楽しんだ様子。今回のフリーマーケットも大いに盛り上がったイベントでした。

なお、出店した役場女性部の収益は、日本赤十字社を通じて東日本大震災の被災者に寄附しました。



将来を考える職場体験各所で

中里高校・中里中・小泊中

8月末から9月にかけて、町内の中学校・高校がインターンシップや職場体験を行いました。

参加した生徒たちは、自分の希望を中心に各働き先へ行っているとあって、それぞれ与えられた仕事を真剣にこなし、将来の自分を思い描いているようでした。

9月7日(水)には、中里中の小寺匡哉くんが編集の仕事を体験しようと、広報係にやってきました。小寺くんには、毎年ホタルまつりで飛び交うホタルが、どのように飼育されているのかを取材してもらいました。



小寺くん取材記事「ホタル幼虫飼育の現場」

※広報係はいくらか字句を調整するだけにとどめています



9月7日(火)町役場で、ホタルの幼虫飼育を取材しました。

飼育していたのは、中泊町ホタルの会会員で、毎年行われるホタルまつりに舞うホタルを飼育し、6月頃にホタルの里のせせらぎ水路に放流されます。

飼育方法は、水槽にホタルの成虫を入れて、約2cm角のスポンジに約2～3個の卵を産みつけさせます。

この卵がふ化すると、幼虫のえさとなるカワニナと一緒に別の水槽に移して飼育します。ふ化直後は、幼虫は2mmほどでまだカワニナを貝のまま食べられないので、貝から取り出した身だけを水槽に入れ、幼虫に食べさせます。えさは3日に1回のペースで与え、成長すると貝のままでも食べられるようになるそうです。

中泊町ホタルの会の事務局で、役場環境整備課の松田主事は「この仕事のやりがいは、毎年放流しているホタルが実際にまつりで舞い、鑑賞客に喜んでもらうことです」と話してくれました。

雨にたたられても まつり盛り上げ

富野猿賀神社例大祭



9月11日(日)～12日(月)の2日間、富野猿賀神社の境内で恒例の猿賀権現例大祭が行われました。

この例大祭は、富野猿賀祭り保存会が毎年にごやかに行っているもので、今年も相撲大会や武田小交通安全パレード、よさこい、満月仮装盆踊り大会などたくさんの企画を用意していました。

初日はグラウンドゴルフ大会や相撲大会が予定どおり行われ、地区の人たちが大勢訪れた同大祭ですが、2日目は大雨に見舞われ、武田小の交通

安全パレードは延期に。しかし、よさこいと仮装盆踊りは、地区を盛り上げたいとして14日に開催。華やかな衣装をまとった踊り子たちが、満月の夜を踊り明かしました。

また、12日に行われた旗の奉納では、町消防団や東北電力のほか、今年から新たに武田小PTAによる奉納も行われた同大祭。奉納した関係者は、佐井川住職の祈祷のあと玉串をささげ、五穀豊穡や無病息災、家内安全などを祈願していました。